



第2回 総合診療★家庭医療 全国公開セミナー in Tsukuba



第2報

総合診療や家庭医療に 関心のあるあなたへ

ドクターGとして知られるようになった総合診療医、でも仕事内容や総合診療医になった後のことなどは、意外と知られていないかも…そこで、国立大学としては全国最大規模の総合診療グループを擁する筑波大学が公開セミナーを実施します！筑波大生企画や交流セッションなど内容も盛りだくさん♪秋の日の週末、ちょっとつくばまで足を運んでみませんか。



開催案内

日時：平成27年11月21日(土)
12:15開場 12:30開始

対象者：日本全国の医学生と医療系学生、
初期研修医、その他内容に興味のある方

参加費：無料（セミナー部分）

懇親会費（学生@2,000円、社会人@3,000円）は、当日受付にてお預かりします。

場所：筑波大学附属病院
A棟3階 特別第3会議室 他

*宿泊の手配は、各自でお願いいたします。尚、翌日つくばマラソンが予定されていることから、早目のご予約をお薦めします。

お問合せ先：筑波大学附属病院
総合診療医養成事業推進支援室

E-mail：mirai.iryō@un.tsukuba.ac.jp
電話：029-853-3339（担当：早川・稲葉）



イメージキャラクター
みらいちゃん

プログラム（予定）

第1・2部は、各3テーマからご希望のものを選んでご参加ください。

12:30~13:00 【開会式】

13:00~14:30 【第1部】

◆セッションテーマ：多職種連携、
プライマリケア整形、医療情報の選び方

14:30~15:10 休憩 & 交流タイム

15:10~16:40 【第2部】

◆セッションテーマ：緩和ケア、看護理論、
キャリア

16:40~16:50 休憩

16:50~18:20 【第3部】

全体交流セッション+最終講演

18:30~ 【第4部】

懇親会&学生企画セッション

学生企画参加者も同時募集中♪

現在、企画進行中です！

セッション内容詳細は、
HPに掲載しています。

セミナー参加のお申込みは
右のQRコードから⇒



プログラム概要(各セッションの内容と担当講師(予定))

12:30~13:00 オープニング

13:00~14:30 <セッション 1~3(どれか 1つ選択)>

セッション1:「今から始める、多職種連携」

【内容】 各専門職を講師として迎え、実は知らなかった多数の職種の役割を知り、連携の大切さ、難しさ、楽しさを実感できる時間にしたと思っています。リハーサルなし、臨場感たっぷりの模擬多職種カンファレンスもやります！

【講師】 山本由布(筑波大学附属病院 総合診療グループ、笠間市立病院、医師)、大澤さやか(筑波大学附属病院 総合診療グループ、医師)、小室朋子(笠間市立病院、訪問看護師)、後閑良平(笠間市立病院、作業療法士)、本多淑恵(笠間市立病院、言語聴覚士)、竹江崇(宍戸苑指定居宅介護支援事業所、ケアマネジャー)、小濱伸太(協和調剤薬局、薬剤師)

セッション2:「プライマリ・ケア整形 ~はじめて学ぶシーネ固定~」

【内容】 みなさんはシーネ固定を体験したことがありますか？総合診療や家庭医療を実践する医師にとって、整形外科領域に関する最低限の知識や手技は必須です。その中でも、今回のセッションでは「シーネ固定」に焦点をあて、実践を交えながら、参加者のみなさんにシーネ固定を学んで頂きます。

【講師】 林幹雄(筑波メディカルセンター病院 総合診療科)、萩野利紗(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、大澤亮(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、高橋弘樹(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、坂入慧一郎(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、佐藤康介(筑波メディカルセンター病院 整形外科)、田中健太(筑波大学附属病院 整形外科)

セッション3:「正しい医療情報の選び方」

【内容】 その医療情報は信用できますか？今やインターネット上には無数の医療情報が溢れています。そして、身近な人やテレビからの医療情報を基に医療機関を受診される患者さんもいます。惑わされずに正しい医療情報を選ぶ眼を一緒に養いませんか？

【講師】 中澤一弘(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、稲葉崇(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、任明夏(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、春田淳志(筑波大学附属病院 総合診療グループ、笠間市立病院)

<休憩・参加者と講師の交流>

15:10-16:40 <セッション 4~6(どれか 1つ選択)>

セッション4:「早期からの緩和ケア？ ~安心してください。いつでも緩和できます！~」

【内容】 緩和ケアって、看取りだけと思いませんか？緩和ケアは、患者さんの様々な苦痛を“早期から”発見・対処して QOL を改善するアプローチです。つまり、診断時、再発時、治療時など、いろいろな時期にシームレスな(継ぎ目のない)緩和ケアがとにかく大事なんです！！そんな早期からの緩和ケアを一緒に勉強しませんか？

【講師】 東端孝博(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、川島夏希(筑波大学附属病院 緩和ケアセンター)、久野遥加(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、小野間優介(筑波大学附属病院 総合診療グループ)、清水真理(筑波大学附属病院 緩和ケアセンター)、大塚貴博(明戸大塚医院)、浜野淳(筑波大学 医学医療系)

セッション5:「看護理論を知って家庭医療を考えてみよう ナースの頭の中を大解剖！」

【内容】 家庭医療の中で「医師と看護師はどんな風に連携していくのだろう」「家庭医療の中での看護師の役割って何？」そんな風に思ったことはありませんか？前半は世界中の看護師のバイブル的存在であるヘンダーソンの理論について学びます。ヘンダーソンの理論は人間の基本的欲求を 14 項目に分けてみえています。また、この基本的欲求は看護の基本となるものでもあります。後半は国民的家族の事例を使って関連図で看護問題を抽出し、ヘンダーソンの理論を用いて皆で看護計画を立てて行きます。

一連の看護過程から人を見るとはどんなことかを学んでいきます。また、家庭医に必要なところや家族ごとケアする技も知ることができます。皆さんと楽しく自由に考えたり、演じたりしてもらいます。現場の看護師にもどんどん質問して下さい。皆さんの自由な発想と感性をお待ちしています！職種を超えて、一緒に家庭医療について考えてみませんか？

【講師】 石井絵里(訪問看護ステーションあゆみ 家庭医療看護師)、田中亜紀子(トータルファミリーケア北西医院)、高谷智美(梶原診療所)

セッション6:「将来どうしたい？医者のキャリアデザイン」

【内容】 将来どうなりたいのか？そのためにはどうしたらいいのか？みなさんと一緒に、医者のキャリアデザインについて考えてみます。さらに、ここでしか言えない家庭医・総合診療医のキャリアについて、講師の経験を踏まえて熱く熱く語ります。

医者として、あるいは人として成長するヒントが見つかると思います。

【講師】 高木博(大和クリニック)、任端(筑波大学附属病院 総合診療グループ)

16:50-17:50 <全体交流セッション>

「ワールドカフェ～地域(ディスカッション形式)」

【内容】 全国から集まった参加者の中で意見を交わし、交流を持ちたいと思います。地域という広い枠組みの中で、学年・職種・役割を超えて様々な価値観を持つ人と混ざり合い、きらりと光る考えを持ち帰っていただければと思います。

【司会】 大澤さやか(筑波大学附属病院 総合診療グループ、医師)

17:50-18:20 <最終講演>

テーマ:「私が総合診療医を目指した理由～地域に求められる医療者とは?(仮題)」

【講師】 前野 哲博(筑波大学地域医療教育学、附属病院総合診療グループ)

18:30- <懇親会>

懇親会学生企画♪募集中です!

「学生プレゼン～学生でもここまでやれる!」「セミナーで勉強するだけじゃつまらない!」「色々学生として、こちらからも発信したい!」という参加者の声を元に、学生自身が発信する場を設けました。
皆さんの熱く活動している活動をぜひ参加者で共有してみませんか?